

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容総論 General theory early childhood education curriculum		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
幼稚園教育要領、保育所保育指針で保育内容として示されている「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という5領域について学ぶために、保育は環境を通して総合的に行われるものということ捉えて総合的な指導とかかわりについて学ぶ。				
授業の目標				
①保育の基本と保育内容の具体的領域を述べることができるようにする。 ②保育内容の歴史の変遷を知り、保育内容の意味を学ぶことができるようにする。 ③幼稚園教育要領と教育課程、保育所保育指針と保育課程を知り、保育の実践を考えることができるようにする。 ④保育事例を通して、判断力を伴った保育の展開を考えることができるようにする。				
授業の方法				
事例を示しながら、テキストを解説し読み込む。保育の専門用語や保育の歴史に関わる人物などは分かりやすく説明し、保育の知識を得る場とする。保育教具に触れる時間も設ける。保育所と幼稚園の保育現場理解に向けて映像資料を見る。				
学習の成果(学習成果)				
保育の歴史を解釈し、現在の保育のあり方を自ら考え、子どもにとって望ましい環境とはどのようなものなのかを捉えて保育内容各論の位置づけができる。 養護と教育を踏まえた保育の関わりを考え、子どもの主体性を育む保育指導計画を立案することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスの説明、保育内容とは、授業の進め方と受講の仕方)			
第2回目	幼稚園・保育所・認定こども園の現状			
第3回目	幼児教育・保育において功績のある思想家① フレーベル			
第4回目	幼児教育・保育において功績のある思想家② モンテッソーリ			
第5回目	幼児教育・保育において功績のある思想家③ 倉橋惣三			
第6回目	幼稚園教育の開始と保育施設の整備(調査報告書①:提出日は授業内で指示する)			

第7回目	保育実践の歴史的背景と保育内容の変遷
第8回目	乳幼児の発達—子どもの生活と遊び
第9回目	保育所保育指針・幼稚園教育要領と保育の特質（冊子作成課題：提出日は授業内で指示する）
第10回目	保育所の日と、幼稚園の日 映像資料「保育所と幼稚園の日」（調査報告書②：提出日は授業内で指示する）
第11回目	保育課程・教育課程と指導計画① 保育における計画の意味
第12回目	保育課程・教育課程と指導計画② 一日の生活を具体化する
第13回目	保育課程・教育課程と指導計画③ 保育課程・教育課程から指導計画への流れの理解
第14回目	保育課程・教育課程と指導計画④ 指導計画の作成（指導計画の提出：提出日は授業内で指示する）
第15回目	幼小連携・幼小接続の実際と現代保育の課題（子育て支援の現実）

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業中はノートを取り机上の整備に努める。疑問点や不明点、更に知りたいことの質問ができる。
レポート	20%	第14回目の授業において課題を出す。指示されたポイントが明確な内容である。提出期限を守る。
調査報告書	30%	実際の保育現場の一日の生活を調べる。（幼稚園、保育所各15点）
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説書を基に、各自の「保育所保育指針」ねらいと内容、「幼稚園教育要領」ねらいと内容を書き込んだ冊子を作製する。誤字脱字なく丁寧である。
その他		

教科書と参考図書

教科書：保育内容総論（青踏社）

履修上の留意点・ルール

保育者を目指す気持ちを大切に育みながら、じっくりと受講してください。 指示されたレポート・調査報告書・冊子作成は、期日を厳守して提出すること。
--